

平成 27 年 3 月定例会

教育委員会定例会会議録

書記 伊 東 英 二

書記 鈴 木 和 賀 子

塩竈市教育委員会定例会会議録

◆日 時 平成 27 年 3 月 20 日（金） 午後 1 時 30 分～午後 2 時 22 分

◆場 所 壺番館 3 階共用会議室

◆出席委員

委 員 長	柴田 仁市郎	委員長職務代行者	太田 忍
委 員	池野 暢子	委 員	山田 達磨
教 育 長	高橋 睦麿		

◆事務局

教 育 部 長	菅原 靖彦	教育総務課長	会澤 ゆりみ
生涯学習課長	渡辺 常幸	学校教育課長	高橋 義孝
市民交流センター館長	本田 幹枝	教育総務課長補佐兼総務係長	伊東 英二
教育総務課専門主査	鈴木 和賀子		

◆定例会次第

1 開会

2 前回会議録承認

3 会議録署名委員の指名

4 議案

- ① 議案第 6 号 市長と塩竈市教育委員会との地方自治法第 180 条の 2 の規定に基づく協議について
- ② 議案第 7 号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則

5 教育長報告

- ① 第 7 回管内教育長会議について

6 教育部長報告

- ① 塩竈市震災復興計画の関連事業等について
- ② 市議会定例会等について

7 その他報告

- ① 塩竈市教育委員会点検・評価報告書 平成 26 年版(平成 25 年度実績)について
- ② 平成 26 年度塩竈市教育論文入選者について

8 閉会

1 開会 午後 1 時 30 分

2 前回会議録委員の署名
山田委員から報告、承認

3 会議録署名委員の指名
池野委員と高橋教育長を指名

4 議案

(1) 会澤教育総務課長から、以下のことについて報告

- ① 議案第 6 号 市長と塩竈市教育委員会との地方自治法第 180 条の 2 の規定に基づく協議について
- ② 議案第 7 号 地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係規則の整理に関する規則

(委員全員異議なし) 原案のとおり可決

[主な質疑]

なし

5 教育長報告

(1) 高橋教育長から、以下のことについて報告

- ① 第 7 回管内教育長会議について

[主な質疑]

・ 太田委員

学校に用務員は配置されているのか。

・ 高橋教育長

男性と女性の用務員が各 1 名配置されている。また、今年度は、その他に緊急雇用の校務補助員が 1 名いる。

・ 太田委員

今まで各学校に配属されていた事務官が事務支援室へ配置され、職員室の電話対応等が困難になるとのことだが、用務員での対応はできないのか。

・ 高橋教育長

用務員は、職員室外での仕事が多いため、電話対応は困難であり、教頭・教務主任等で対応することになる。

学校から事務官への書類の提出や相談業務も多いため事務支援室の職員も週に 1～2 回は訪問して対応する予定である。また、事務職員

の力量を平準化するという観点もあり、それぞれの学校に質の高い事務を提供できるというメリットもある。

・池野委員

浦戸小中学校の事務職員は、どうなるのか。また、一中に5人、玉中に5人配属されるのか。

・高橋教育長

浦戸小中学校には、今までどおり事務職員が1名常駐する。また、一中に5人、玉中に5人常駐するが、一中・玉中の業務に5人が関わるとはならず、あくまで学校を事務所に行っているという考え方になる。

・山田委員

それぞれの事務職員は、一度配属校に出勤してから事務支援室に行くのか。

・高橋教育長

直接各事務支援室に出勤することになる。人事管理上、事務職員は、一中・玉中に配属される。それぞれの事務職員の上司は、一中・玉中の校長になり、その命に従い勤務するということになる。

6 教育部長報告

(1) 菅原教育部長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市震災復興計画の関連事業等について
- ② 市議会定例会等について

[主な質疑]

・太田委員

生活保護世帯の学習支援は、授業料免除・給食費免除などの程度の支援なのか。

・高橋学校教育課長

生活保護世帯については、社会福祉事務所の教育扶助費制度で学用品費等の経済支援を行っている。また、修学旅行費については、教育委員会で支給している。

今回、議会で質問されたのは、先進地である高知市の取組のような学習についての支援ができないかというご質問であった。小学校では、放課後の学び支援の時間があり、要保護・準要保護家庭の児童には学習支援として声掛けをしている。しかし、その児童だけを対象とした学習支援は公教育の性格上困難であるということを議会でお答えした。

・太田委員

他の自治体では、震災で生活が困窮し、高校進学が困難な子どもたちに自治体が援助するという話をきくが、塩竈市ではそのような制度はないのか。

・高橋学校教育課長

放課後の学び支援の事業は、震災後の新規事業であり、国の全額補

助で行われている。

- ・高橋教育長

高校進学については、奨学金制度があり、市内でも約3～4人が、奨学金を受けている。また私立高校でも、震災を考慮した独自の制度として入学金免除の措置等が行われている。

7 その他の報告

(1) 会澤教育総務課長、高橋学校教育課長から、以下のことについて報告

- ① 塩竈市教育委員会点検・評価報告書 平成26年版(平成25年度実績)について
- ② 平成26年度塩竈市教育論文入選者について

[主な質疑]

- ・池野委員

塩竈市教育論文については、何名位の先生方が応募されるのか。

- ・高橋学校教育課長

毎年10人から20人の応募がありますが、今年は、小学校14件、中学校8件、合計22件の応募があった。共同の教育論文があるので、人数ではなく件数ということになる。

8 閉会

午後2時35分

《會議録署名委員》

3 番委員

(池野委員)

5 番委員

(高橋教育長)